

北方町の小中 一貫校に寄付

堀伊木材
大垣西濃信金

北方町東加茂の建築業「堀伊木材」と大垣西濃信用金庫は16日、同町が2023年度に開校を目指す小中一貫の義務教育学校2校の設立準備に役立ててもらおうと、同町に10万円を寄付した。

企業が発行した私募債の手数料で、学校などに金品を贈る同金庫の地域貢献型私募債「絆」を活用。同社の堀統行社長(54)が義務

教育学校の「北方学園構想」に賛同し、寄付を決めた。

堀社長と同金庫北方支店の清水洋一支店長が町役場を訪れ、戸部哲哉町長に目録を手渡した。堀社長は「生まれ育った北方町の子ど



戸部哲哉町長(左)に寄付金を贈呈した堀統行社長(中央)＝北方町役場

もたちのため、お役に
立ちたい」と述べた。
(松浦健司)